

## 第3章 定住自立圏の形成により目指す圏域の将来像

### まちの光が奏で合い、暮らしが輝き、未来を拓く西いぶり

西胆振圏域では、平成22年に室蘭市と5市町が定住自立圏形成協定を締結し、上記の将来像を掲げ、「医療」「防災」「観光」「環境」「教育」の生活機能分野、「ICTネットワーク」「地産地消」の結びつきやネットワーク分野、「人材育成」の圏域マネジメント分野を連携項目とし、各種事業に取り組み、平成28年3月には定住自立圏形成協定を変更し、「産業振興」「医療・保健」「福祉」「住民交流・移住促進」を新たな連携項目として追加・変更しました。

このことにより、一定程度幅広い連携が進んだ一方、少子高齢化の進行や大都市圏への人口集中等により、圏域人口は減少を続けており、今後も更なる減少が予測される中で、住民が安心して暮らし、圏域として魅力あふれる地域を形成するためには、中心市と各市町の連携と役割分担のもと、「定住」に必要な生活機能の確保や「自立」につながる経済基盤の強化に向けた取組を一層推進することが求められます。

そのため、現在の協定分野について、より一層内容の充実を図るため、連携事業の追加や、新型コロナウイルス感染症の状況も踏まえた、新たな日常に対応した事業の追加や見直し等を行いました。

西いぶり定住自立圏では、一つ一つのまちの輝きをさらに高めながら、住民が安心して暮らし、人・物・文化の交流により魅力を高め、未来に向けて確かな歩みを進めることを目的に、目指す将来像の実現に向かって、以下の方針のもと圏域のまちづくりを進めます。

#### ◇ 地域産業の振興と人の流れの創出による圏域の活性化

担い手確保に向けた企業の活性化支援、地場製品の消費拡大等による地域産業の振興、地域資源を活かした広域観光の推進や移住促進に連携して取り組み、定住・交流人口の増加につながる「ひと」の流れを創出し、圏域の活性化を目指します。

#### ◇ 安心して元気に暮らせる住みよい地域づくり

圏域内の医療機関の連携による地域医療体制の充実や医療資源を活かした健康づくりの推進、高齢者や障がい者、子育て世帯など誰もが安心できる地域福祉の推進、災害時の相互応援体制構築など防災体制の充実、脱炭素社会の実現に向けた環境意識の向上、ICTネットワークによる住民サービス向上に連携して取り組み、安心して元気に暮らせる住みよい地域づくりを目指します。

#### ◇ 未来を拓き地域で活躍する人材の育成

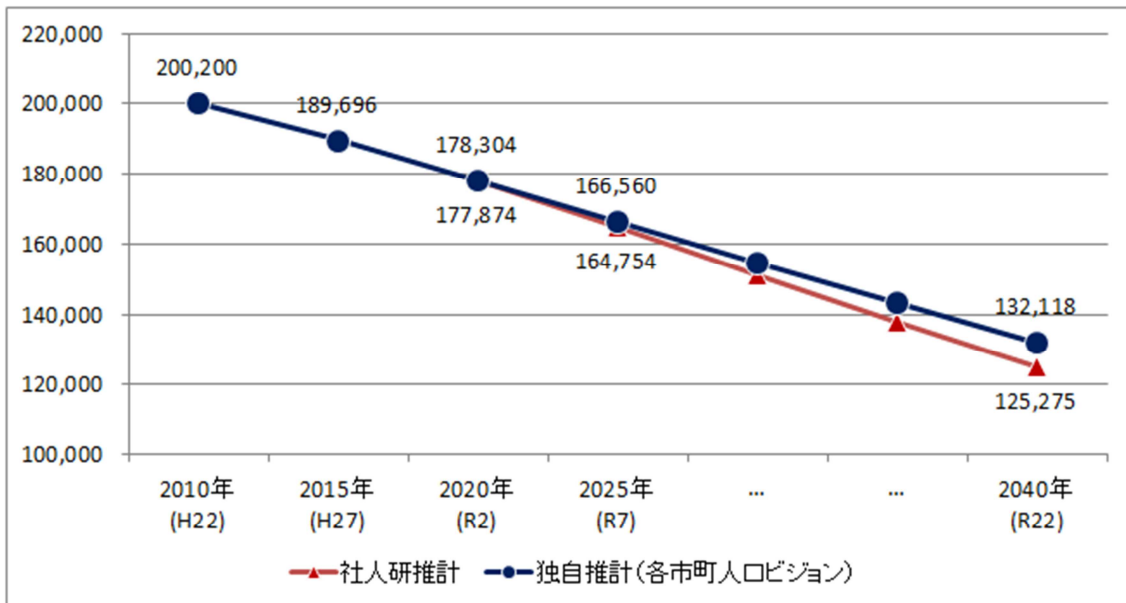
圏域の特性や資源を活かした学校教育活動の推進により将来を担う子どもたちの地元への愛着を深めるとともに、広域的な生涯学習活動の展開と住民の交流促進、自治体職員の政策形成能力の向上等により、圏域の未来を拓き地域で活躍する人材の育成を目指します。

## ■ 圏域人口の将来展望

圏域全体の将来人口については、各市町の人口ビジョンにおける将来展望を踏まえ、令和7年：約16万7千人（社人研推計より約2千人増加）、令和22年：約13万2千人（社人研推計より約7千人増加）と展望します。

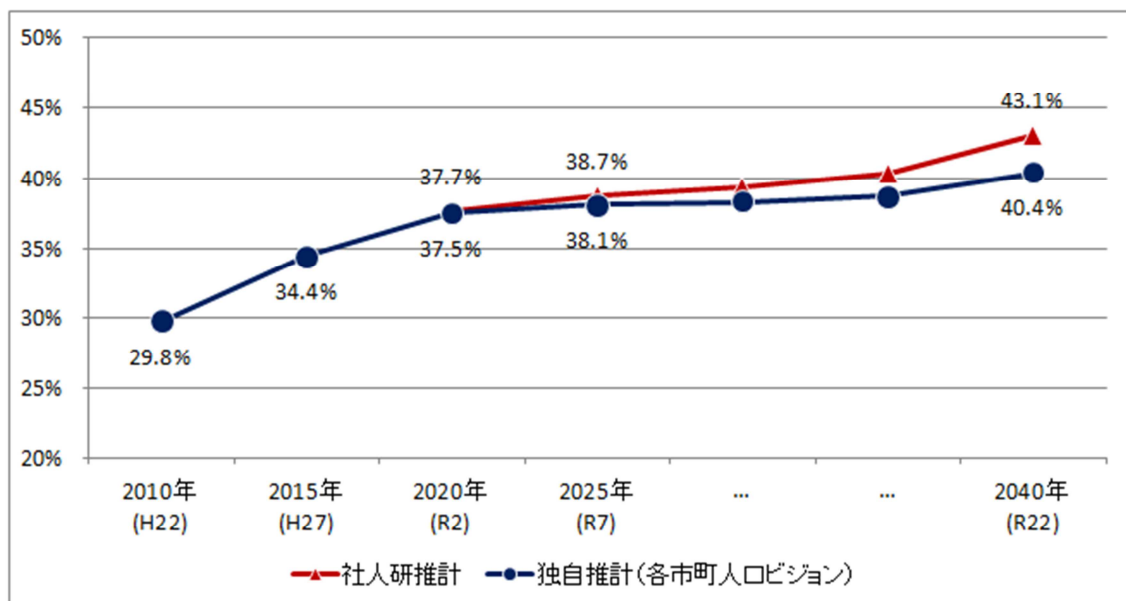
また、地域産業の振興等により若年層の人口流出抑制と流入促進を図ることで、圏域の将来における高齢化率について、令和7年：38.1%（社人計推計より0.6ポイント減少）、令和22年：40.4%（社人研推計より2.7ポイント減少）と展望します。

【圏域総人口の将来展望】



出典：H22～H27 国勢調査（各年10月1日現在）、R2～R22：各市町人口ビジョン

【圏域の高齢化率の将来展望】



出典：H22～H27 国勢調査（各年10月1日現在）、R2～R22：各市町人口ビジョンより算出